

## 当たり前のことを 喜ぶ子どもたち

昨日の朝、職員の打ち合わせが終わり、担任が各教室に移動して間もなく、3年教室から大きな歓声が上がりました。「なんだろう？外遊びでもするのか？」と思い、後から聞くと、「全員、忘れ物がゼロだったんですよ！今までで

初めてです！」と担任も興奮気味。忘れ物のない日が特別なのか？といぶかしがる方もあるかもしれませんが、大人にとっては当たり前に行えることでも、子どもにとっては難しいことはけっこう多くあるものです。ちなみに、この日点検したものは、ハンカチ、ちり紙、宿題など8種類（授業道具を除き）あったそうです。

それにしても、忘れ物ゼロで歓声が上がる学級、いいと思いませんか？

職員室の欠席確認黒板にゼロが並ぶとうれしい気持ちになりますが、今年度は昨日まで185日の授業日数中、全員がそろった日は63日、平均すると約34%でした。全校児童93名が全員出席しているのは、3日に1日の割合です。当たり前になっている事でも、実は難しく、できたときにはもっと喜んだり、褒めたりすることなんですよね。